

平和の森公園再整備（第二工区）の考え方について

平和の森公園再整備（第二工区）について、改めてより多くの区民の意見を幅広く聞き、「誰もが憩い楽しむことのできる、中野の中心にふさわしい公園づくり」として、区の考え方を整理したので報告する。

1 意見募集の実施結果

- (1) 「平和の森公園再整備を語る会の実施結果」別紙1のとおり
- (2) 「平和の森公園再整備（第二工区）検討案に係る意見募集の実施結果」別紙2のとおり

2 再整備の考え方及び変更（案）

10月8日及び10日に開催した「平和の森公園再整備を語る会」における意見及び、郵送等による意見募集の結果を踏まえ、再整備の区としての考え方を以下のとおり整理した。

- (1) 草地広場内に計画している、300メートルトラック及び100メートルコースの設置については、さらに検討が必要であり、現時点では「スポーツによる健康づくりを行える公園」のコンセプトを活かした園路の内側のゴムチップ舗装を代替施設として整備する。
草地広場の利活用については、地域の健康づくりやスポーツ活動などの利用も視野に、さらに検討を進める。
- (2) 草地広場等の敷地造成は、今後の長期にわたる公園設備の安全性を担保するための電気、給水、排水設備等の埋設管の新設及び更新、草地広場の拡張に伴う園路の変更、スポーツ活動等の利用も踏まえた平坦化のために、整備を開始する。
- (3) バーベキューサイトについては、実証実験を行った結果、臭気、騒音には問題はないが、園路内への煙の流入が課題であることが判明した。設置については、課題解決のための対策が必要であり、検討を継続する。
- (4) 草地広場の築山を活かしたすべり台については、草地広場内の利活用の検討を進めることから、既存築山を存置する。
- (5) 植生環境については、緑の総量が減少しないよう必要な補植を行う。
- (6) 草地広場の既存パーゴラは、休憩施設として存置する。

これらの考え方に基づく「平和の森公園再整備（第二工区）の変更案」は、別紙3のとおり。

3 今後の予定

平成30年11月10日・12日	再整備の考え方及び変更（案）に関する住民説明会の開催
平成30年11月15日～	第二工区閉鎖（準備工開始）
平成30年第4回定例会	契約変更議案提出
平成31年7月	第二工区竣工予定

平和の森公園再整備を語る会の実施結果

1 平和の森公園再整備を語る会の実施状況

No.	開催日時	開催場所	参加人数
1	10月8日(月) 午後2時から4時	区役所会議室	60人
2	10月10日(水) 午後7時から9時		29人
合計			延べ89人

2 主な意見(同趣旨の意見は一括)

(1) 計画全般・計画の進め方について

No.	区民からの意見等
1	何もしないで欲しい。現状のままでいい
2	グループディスカッションの他の方法を検討してほしい
3	防災の有識者を交えて検討すべき
4	新しいものを作るのではなく、管理費にお金をかけてほしい
5	防災機能をもっと強化してほしい
6	遊具が点在しているため、まとめてほしい

(2) 300メートルトラック及び100メートルコースについて

No.	区民からの意見等
1	子供、老人の衝突事故の恐れがある
2	費用対効果がない

(3) バーベキューサイトについて

No.	区民からの意見等
1	狭い、酒のトラブル、水道、火の管理の懸念がある
2	バーベキューをしたい
3	5基同時に再実験してください
4	現在の花火禁止と矛盾している

(4) 園路ゴムチップ舗装について

No.	区民からの意見等
1	ゴムチップ舗装をすることにより伐採が生じるのであれば不要
2	ゴムチップ舗装は利用目的別に分ける必要がある
3	園路全面ゴムチップ化すべき
4	ゴムチップ化は工夫すべき
5	ゴムチップ舗装による拡幅は不要
6	ゴムチップはどちらでも良い
7	維持管理費がかかるためない方がよい

(5) 草地広場のすべり台について

No.	区民からの意見等
1	既存のままが良い
2	すべり台は土が良い
3	安全面でむずかしい
4	すべり台の代替として遊具を増やしたらどうか

(6) その他の公園機能について

No.	区民からの意見等
1	敷地造成、土の掘り返しは、あり得ない。草地広場の掘り返しは初耳
2	土の掘り返しについてやるのであれば徹底的に補修してほしい
3	既存のパーゴラは残すべき
4	草地広場内に配置する照明灯は不要
5	みどりを減らさないでほしい
6	木を伐らないでほしい
7	大火のシミュレーションをすべき
8	天然素材のイスを増やして欲しい
9	路線バスの停留所を設けてほしい
10	富士山が見える見晴らし台をつくって欲しい
11	自転車置き場を増やして欲しい
12	じゃぶじゃぶ池の周りには高木を植えて、影を作って欲しい
13	ベンチが足りない
14	リアルタイムで野球場の使用状況がわかるようにしてほしい
15	子供が木登りできるようにしてほしい

(7) その他

No.	区民からの意見等
1	ダンプ12,000台がライフの前を通行することが心配
2	こどもや孫を連れて行ける公園にして欲しい
3	現在、禁止事項が多すぎる
4	清掃や管理にお金を費やしてほしい
5	できるだけ自然のままがいい
6	24時間開放されているが、照明のつけっぱなしはどうか
7	工事業者に違約金を払ってもいいから、工事をやめるべき

平和の森公園再整備（第二工区）検討案に係る意見募集の実施結果

1 意見募集期間

平成30年8月31日（金）から平成30年10月10日（水）まで

2 提出方法別意見提出者数

提出方法	人（団体）数
電子メール	77人
ファクシミリ	54人
郵送	2人
窓口	204人
合計	延べ337人

3 提出された意見の概要（同趣旨の意見は一括）

(1) 計画全般・計画の進め方について

No.	提出された意見の概要
1	現状のままでいい
2	現行計画は変更してほしい
3	E案に賛成
4	緑を多く残してほしい
5	現行計画のままでいい

(2) 300メートルトラック及び100メートルコースについて

No.	提出された意見の概要
1	必要ない
2	300メートルトラックでは公式記録を採れない
3	300メートルトラックは使用する人が少ない
4	何もないから価値がある
5	中野区内で他に走れる公園はないのであった方がよい。

(3) バーベキューサイトについて

No.	提出された意見の概要
1	必要ない
2	ゴミ、酒、臭い、煙問題がある
3	近隣住民や公園利用者に迷惑になる

4	人気の施設になってもらいたい
5	バーベキュー会場としては狭い
6	風紀が乱れないのであれば利用したい

(4) 園路ゴムチップ舗装について

No.	提出された意見の概要
1	必要ない
2	必要
3	足腰に良いのであれば利用したい
4	広場が狭くなる
5	子どもが転んでも怪我をしないので利用したい
6	園路をゴムチップにするのは賛成だが、新たにゴムチップの園路は必要ない

(5) 草地広場のすべり台について

No.	提出された意見の概要
1	必要ない
2	保育園児が転んだり、登ったりして遊んでいる、そのままの築山を残してほしい
3	コンクリート製のすべり台は危ない
4	滑り台はあった方がよい
5	子どもが喜ぶから必要

(6) その他の公園機能について

No.	提出された意見の概要
1	第二工区の工事は中止してほしい
2	樹木を伐採しないでほしい
3	ツツジを残してほしい
4	東屋を撤去しないでほしい
5	広場の中央にある園内灯は危ないからいらぬ
6	じゃぶじゃぶ池の新たな整備は賛成
7	下水道局側の築山を残してほしい
8	環境破壊である
9	芝の広場を残してほしい
10	スケートボードができるスペースがほしい
11	自然をそのまま残してほしい
12	下水道側に園路を移設すると雪が溶けない

●誰もが憩い楽しむことのできる、中野の中心にふさわしい公園づくり

スポーツによる健康づくりを行える公園

平和の森公園の運動施設の拡張にあわせ、屋内運動施設を整備することで、様々なスポーツや遊びをきっかけとした、区民のコミュニケーションづくりに寄与する公園を目指します。

既存の緑を継承し、四季を彩るみどり豊かな公園

既存の豊かな水辺と緑を継承しつつ、花や実のなる植物を加えることでより四季を楽しめ、かつ多くの生き物と共生する健やかな自然を次世代へ引き継ぐために適切な管理を行います。

区民の憩い、休息、交流の場となる、多様な広場にあふれた公園

多年代の利用を想定した施設や広場の整備を行うことで、公園のあらゆる場所が憩い、休息の場となり、区民の交流が生まれ、また、平和の大切さについても考えることができる公園を目指します。

防災の拠点となる公園

広域避難場所として、避難者を受け入れる十分なスペース、設備を確保するとともに、帰宅困難者の受入場所や各種支援団体の滞在、活動拠点として機能する体育館を整備し、区の防災の拠点となる公園を目指します。

① 多世代の交流、多様なスポーツができる多目的広場

既存の少年スポーツ広場を、大人も利用できるように拡張し、ナイター設備を設け、多様な利用ニーズに対応します。

野球や少年サッカー等のスポーツだけでなく、様々な催しごとができる場所として、多世代で多様な交流が生まれる広場を目指します。

② 四季を通じ自然豊かな森と水辺

平和の森公園は開園から約30年が経ち、公園の樹木は大きく成長しています。今後もこの公園を安心安全に活用するために、適切な管理を行います。

鳥や虫などの生き物の棲みやすい環境を目指して、既存の緑地や水辺を改修します。自然と触れ合い、環境について学ぶ事ができる公園を目指します。

③ ドッグコミュニティを育む、犬の広場

災害用トイレの上部を活用して中野区初の本格的なドッグランを整備します。犬の健康増進を図ると共に、ドックラン周辺にはベンチなどを整備し、区民の方々のドッグコミュニティを育む広場を目指します。

④ 既存の広場を継承し、新たな活動を創出する草地広場

広大な草地広場を継承しつつ新たな園路広場との連続性を図ることで、多様な使い方の出来る広場を目指します。

⑤ 様々な利用に対応する小広場

ゲートボールにも利用可能な小多目的広場とあわせて、公園の駐車場を整備し、子育て世代や高齢者なども利用しやすい公園を目指します。災害時には各種支援団体の駐車場となり、消火・救助及び復旧・復興を支援します。

⑥ 公園の新たな顔となる街に顔を向けた体育館前広場

公園の新しい顔となるメインエントランスには、既存のケヤキ並木を保全した「エントランス広場」や、地下に下水道処理施設があるために生じる段差を利用した草花に溢れる「ステップ広場」、通年子どもの遊び場として利用可能な「じゃぶじゃぶ池」や、草地広場と連続する「イベント広場」等を新たに整備し、公園の顔としてふさわしい、多様な使い方を提供する広場を目指します。



体育館前イベント広場



プロムナード入り口から見たステップ広場



体育館3階テラスから見たじゃぶじゃぶ池およびプロムナード



<イメージ>

⑦ 自然に寄り添う「みどりのなかの体育館」

本格的な競技大会やニュースポーツ等が行える総合体育館

複数競技の公式規格に対応したメインアリーナ
小規模な大会や多様な用途等に対応するサブアリーナ



体育館全体配置ダイアグラム

テラスのある体育館

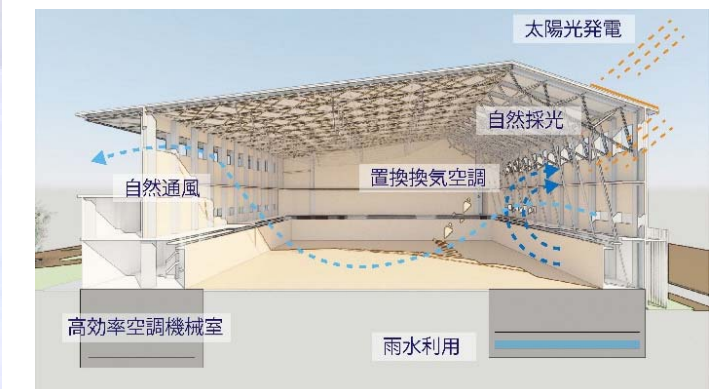
体育館が公園の一部として、広場と一体となり連続するような場を持つ「テラス型」の体育館とします。



体育館テラスから見た草地広場

高機能と自然環境の両立

公式競技に対応した機能・設備を備え、かつ、区民の通常利用としても使いやすく自然の環境を有効に活用した体育館とします。また、平和の啓発機能とともに災害時には防災対応の拠点として機能するよう耐震性の高い体育館とします。



体育館メインアリーナの環境配慮ダイアグラム

平和の森公園再整備(第二工区)変更案

- ・区民のスポーツ・健康づくりの場としての機能を高め、平和の森公園全体の機能向上を図るため、体育館の新設を含む平和の森公園再整備を行います。
- ・平和の森公園は、豊富な緑、広大な空地を活かしながら(1)「だれもが親しめる快適な公園機能の充実」、(2)「地域防災の拠点としての公園機能の充実」を本計画の方向性とします。
- ・新体育館は、全区レベルの競技大会を開催するにふさわしい総合体育館として、延床面積11,800㎡程度の規模を有するとともに、幅広い人びとが気軽に利用できる体育館を計画します。
- ・平和の森公園未開園区域に中野水再生センターの下水処理施設を建設に先立って、区が公園施設として体育館を整備をします。

平和の森公園再整備基本計画	
基本的な考え方	
公園整備	(1)公園機能の充実 ①憩い・休息機能 ～広大な広場を中心とした憩い・安らげる場所～ ②スポーツ・健康増進機能 ～スポーツ振興の中心的な場所～ ③交流機能 ～様々な地域活動の拠点を担う場所～ ④環境保全機能 ～豊かな緑を継承する森に触れ合う場所～ ⑤オープンスペース・景観形成機能 ～四季の変化を感じる樹林やオープンスペースが広がる場所～ ⑥歴史文化機能 ～歴史と文化を伝承する場所～
	(2)防災機能の向上 ～地域防災の拠点となる場所～ ①広域避難場所機能 ②帰宅困難者対応機能 ③警察、消防や復旧・復興支援団体の滞在・活動拠点機能 ④区対策本部の代替施設機能

基本的な考え方	
新体育館整備	①スポーツ振興の中心となる体育館 ・全区レベルの大会を円滑に行うことができる施設 ・スポーツ・健康づくりムーブメントの推進のため、幅広いスポーツ機会を提供する施設
	②安心・安全な利用とユニバーサルデザインに配慮された施設 ・障害の有無や年齢等に関わらず、多様な区民が安心して利用できる施設 ・スペースにゆとりがあり、動線の確保や防犯など、安全な利用に配慮した施設
	③公園利用者の利便を高める施設 ・屋外スポーツ機能と連携し、公園全体の利便性向上に資する施設 ・公園利用者が快適に憩い・休息できる施設
	④環境に配慮した施設 ・自然エネルギーの有効利用、高効率な設備機器の積極的な採用など、環境負荷の低減に配慮した施設
	⑤防災機能の向上 ・新井薬師前駅、沼袋駅の帰宅困難者の一時滞在施設としての活用 ・防災備蓄倉庫の拡充 ・警察、消防、各種支援団体、ボランティアなど復旧・復興支援団体の滞在・活動拠点としての活用 ・救援物資の輸送拠点とするため、広い収容スペースと荷捌き場所としての活用 ・区対策本部の代替施設としての活用
	⑥歴史文化機能 平和の森公園の前身である旧中野刑務所が、戦時中に政治犯や思想犯を多く収容していた歴史的な経緯も踏まえて、区民が身近にこれらの歴史について触れ、平和の大切さについて考えることができる施設

平和の森公園再整備(第二工区)変更案		
ゾーン	規模	基本設計の概要
1. 公園全体		
・既存樹木		・枝打ち等の森林管理を実施するとともに、樹林地が裸地になっている場所へ低木や地被類を補植するなど緑の再整備
・休憩施設		・公園整備にともない対応が必要な既存樹木をステップ広場や多目的広場外周、小広場に移植するなど既存樹木の有効活用
・トイレ	2箇所	・安全性や快適性を高めるため、老朽化したベンチやあずまや、テーブルなどを更新し、各所に配置 ・時代のニーズにあわせて、和式便器は洋式便器に改修するとともに、老朽化しているだれでもトイレを全面改修
・既存水辺		・生物の生息・生育環境を確保するため、既存の水流れを補修、改良をするとともに、水生植物を補植する ・ろ過装置の更新や落差を利用したエアレーションによってよどみを解消し、水辺で住民参加の新たな交流や子供達が自然と触れ合い、環境について学ぶ事ができる、森のせせらぎの親水施設へ改良
・園路	公園周回延長 約1.0km 透水性アスファルト舗装	・ジョギングやウォーキングが安全に行えるよう、老朽化した園路舗装を改修
・園内灯	平均照度 3ルクス	・草地広場周回 約500m、多目的広場周回 約450m、公園周回延長 約1.0km ・園路は夜間でも安全で安心して利用できるよう、平均照度3ルクス以上を確保
・遊具	・トリム遊具(健康遊具) ・アスレチック遊具	・老朽化したトリム遊具(健康遊具)をリニューアルするとともに、ウォーキングしながら健康増進を図ることができるよう園路沿いに8基点在させる ・子どもの自由な発想や運動機能を高める遊具を園路沿いに新たに点在配置(子どもクライミングウォール、伐採材を活用したアスレチック遊具等)
・バーベキューサイト	(検討を継続する)	
・駐輪場	420台	・体育館地下にメイン駐輪場320台を整備するとともに、公園各入口に合計100台設置し、自転車による来園者の利便性を高める
2. 多目的広場		
多目的広場	全天候型舗装(人工芝)約6,900㎡ ・両翼80m中堅90m ・防球ネット H=15m、天井ネット ・照明設備 6基	・他のスポーツの支障とならない位置に常設マウンドを設け野球設備を充実させ、またダッグアウトを全面改修 ・軟式野球の規格である、内野300ルクス、外野200ルクスを確保できるナイター用照明設備を新たに設置 ・降雨後も早期に利用できるように排水のよい人工芝とし、快適性、利用率を向上させるとともに、バックネット裏に足洗いもできる多目的広場の給水施設を設置 ・野球以外のスポーツ利用として、少年サッカー(40m×60m)、フットサル:2面(20m×40m)、ゲートボール:4面(15m×20m)ができるコートを整備
3. 草地広場		
・園路	全天候型舗装(ゴムチップ舗装)	・園路の内側は草地広場の一部としても利用でき、降雨後も早期に利用が可能なクッション性のあるゴムチップ舗装を採用
4. 体育館前広場		
・イベント広場	舗装広場 約1,000㎡ 草地広場 約1,000㎡	・ケヤキ並木のエントランス広場から森を抜けて草地広場や体育館前広場に繋がるプロムナード(バリアフリー動線)を整備
・ステップ広場	約1,500㎡	・ケヤキ並木の景観を継承したエントランス広場を再整備し、体育館前まで高低差のある敷地に平場と傾斜路を複合させた森の中を楽しめるステップ広場を整備
・じゃぶじゃぶ池	じゃぶじゃぶ池広場 約1,200㎡ 水深20cm 100㎡/水深10cm 60㎡	・体育館前に公園の賑わいを創出する、イベント利用が可能な舗装広場と草地広場を連続させて整備
・カスケード	延長 約70m	・じゃぶじゃぶ池からプロムナード沿いにカスケード(段差のある水流れ)の親水施設を設け、大人も子どもも利用できる快適なクールスポットを創出 ・じゃぶじゃぶ池周辺にあずまや・ベンチを配置し、保護者や子どもの休息・交流機能を付加
5. 小広場		
小多目的広場	約800㎡	・ゲートボール(2面)にも利用可能な小多目的広場(ダスト舗装)の整備 ・小広場には、普通車45台、バイク10台が駐車できるスペースを確保し来園者の利便性を高める ・公園のイベント時や災害時は駐車スペース(大型車20台可能)として利用可能とするため、敷地全体をフラットに整備
6. 犬の広場		
ドッグラン	2面	・既存の犬の広場の北側部を拡大し、小型犬用、中型犬用の2つの広場へ再整備。また、アジリティ遊具等を設置し犬の遊び機能を拡充 ・飼い主の休息と交流のため、ベンチ等の休息施設を設置
7. 防災機能		
		・既存防火樹林は必要な手入れを施し保全 ・避難道路となる区画道路第1号へ接続するバリアフリーに対応した公園出入口を新設し、公園西側地区からの新たな避難用動線を確保 ・園内灯の一部は太陽光発電式とし、災害時に安否確認に有効なスマートフォンなど通信機器の充電機能を付加 ・災害用トイレは既存112穴から32穴増設し144穴とし、避難計画人口37,513人に対応

基本的な考え方		規模	基本設計の概要
1. 基本性能			
1. 基本性能	延べ面積 約11,800㎡ 地下2階、地上3階建て 高さ 約25.5m		・公園内の体育館として、景観に配慮しボリューム感を抑え分節されたデザインとし、公園広場と一体となり連続するようなテラスを持つ開かれた体育館とする ・環境配慮型体育館を目指し、自然採光や太陽光発電、高効率な設備機器の積極的な採用など、省エネやCO2の削減に取り組む ・災害時の区対策本部の代替施設として、防災拠点の構造強度(重要度係数1.5)を持たせた体育館とする ・応急対策のための事業継続を図ることを目的とし、非常用発電機や中圧ガスの利用等ライフライン途絶対策を行う
2. 主な所要諸室			
・メインアリーナ	約1,790㎡ (38m×45m程度、天井高17m) 観客席800席程度		・多様な公式競技に対応した機能・設備を備え、全区的な大会を円滑に実施できる規模(バスケットボールコート2面、バレーボールコート2面、バドミントンコート8面、テニスコート 2面) ・多様な障害者スポーツ等を行うことができる安全性と耐久性を備えた長尺弾性塩ビシートの床材とするとともに、壁面を緩衝・防音仕様とする ・大会等の際に外部からの物品の搬入経路を確保するため、専用の搬入出入口を設置 ・メインアリーナ横に主催者席、放送席を設置し、観覧席は、1階に約110席、2階に約690席を確保するとともに、2階観覧席外周部にランニングコースを設置
・サブアリーナ	約885㎡ (22m×38m程度、天井高12.5m) 観客席30～50席		・メインアリーナを補完する機能を持ち、利用者が効率的かつ柔軟な利用ができる機能とし、多様な公式競技を行うことが可能なスペースを確保(バスケットボールコート1面、バレーボールコート1面、バドミントンコート4面、テニスコート1面、武道の大会) ・多様な障害者スポーツやニュースポーツ等を行うことができる安全性と耐久性を備えた長尺弾性塩ビシートの床材とするとともに、壁面を緩衝・防音仕様とする
・多目的室(卓球場)	約305㎡(卓球台7台)		・鏡面や手すり等を整備することで、ダンスやヨガなど、卓球以外の競技や用途にも対応できるものとする ・メインアリーナやサブアリーナを使用する大会時の控室として使用するとともに、可動式の仕切りを設置することで、多種多様なスポーツ・健康づくり事業のスペース等として柔軟に活用
・武道場	約515㎡		・剣道・柔道・空手道等の武道における公式競技が行えるスペースを2面確保 ・可動式の仕切りを設置することで、小・中規模大会の実施など、柔軟な利用に対応
・ロビー・ホワイエ	約350㎡		・メインエントランス及びメインアリーナ周辺に設置し、利用者の利便性を高める ・メインアリーナで行われる区民大会等の参加者がゆとりを持って休憩や待機することができる形状・規模
・トレーニング室	約330㎡		・ランニングマシン、エアロバイク等の有酸素運動系マシンや、筋力系マシンを適正に配置できるスペースを確保 ・他の施設利用者との独立性を高めた位置に配置し、動線の交錯を防止する ・多様なスポーツニーズに対応するため、壁面にクライミングウォールを設置
・更衣室・ロッカー室	1階:約300㎡ 2階:約80㎡ 3階:約95㎡		・シャワー室と接続する配置とし、1階には障害者用ブースを独立して設置 ・1階は、公園利用者も利用できるものとする ・各階に設置し、利用者の用途に応じた独立性のある配置により動線の交錯を防止する
・シャワー室	※更衣室・ロッカー室に含む		・ロッカー、更衣室に接続が可能なものとし、障害者用ブースを独立して設置 ・1階は公園利用者も利用できるものとする
・カフェ・売店・テラス	カフェ・売店:約90㎡		・体育館利用者及び公園利用者双方が利用できる施設を体育館西側の草地広場に隣接した位置に設置し、利便性を高める
・平和資料展示室	約60㎡		・1階エントランスロビーと接続する位置に設置し、個室の仕様とする
・会議室	約100㎡		・大会の円滑な運営や各種活動に対応するため設置
3. 防災機能			
			・災害時に活動拠点として機能できる配置・機能の構築 ・沼袋駅及び新井薬師前で発生する約2600人の帰宅困難者の一時滞在施設として活用できる、安心・安全な建築・設備 ・災害時に物資等をメインアリーナへ搬出入するための出入口を確保



凡例		数量
●	既存樹	—
○	新植樹	—
●	移植樹	41本
●	園内灯 (LEDボールライト H約4.0m)	75基
□	太陽灯 (蓄電式 H約3.0m)	17基
●	庭園灯 (LEDアップライト H約0.6m)	60基
●	多目的広場照明 (投光器 H8.0, 10.0m)	6基
●	アップライト照明 (LEDスポットライト)	8基
■	トリム遊具 (健康遊具)	8基
■	アスレチック遊具	3基
■	築山	1基
■	幼児遊具	1基
□	災害用トイレ (増設)	144 (32) 穴
○	ベンチ, 円形ベンチ	24基
□	縁台	6基
□	あずまや	4ヶ所
□	野外卓	3基
□	水飲み, 洗い場, 足洗い	12ヶ所
□	散水栓	21基
□	時計 (H約4.5m)	5ヶ所
□	じゃぶじゃぶ池	—
□	カスケード	—
□	ドッグラン	2面
■	人工芝舗装	—
■	ゴムチップ舗装	—
■	クレイ舗装	—
■	透水性アスファルト舗装	—
■	半たわみ舗装	—
■	透水性インターロッキングブロック舗装	—
■	レンガタイル舗装	—
■	カラーコンクリート舗装	—
■	石貼り舗装	—
■	緑化駐車場	—
■	木チップ舗装	—
■	屋外駐輪場	100台
□	パーゴラ	2ヶ所

